

# 第21号

1991年6月25日発行  
 社会福祉法人 友愛会  
 大島保育所  
 大島福祉学園  
 友愛園  
 南川福祉学園  
 題字 理事長 角野元保

# 海 清



元気にゴールイン!! (南川福祉学園)

はるやすみ

はるやすみ

お家へ帰りました。

おじいちゃんは

カゼをひき、

おばあちゃんは

腰が痛かったのです。

わたしは

お手伝いをしました。

ごほうびに、

レピアへ行き、

本とパンを

かってもらいました。

浜谷 節子  
 (南川福祉学園)

# 特集

## 地域交流と友愛園

それぞれの季節に彩りが...

地域社会のみなさんには年間を通し、施設のためにいろいろとご協力を賜っています。昨年実施した各行事におきましては、多数の近隣地域の方々にボランティアとして参加していただきました。一方直接交流ではないですが、年間を通じ、奉仕作業もしていただいています。

施設としても、まだ十分ではありませんが、地域への協力というものとして、娯楽室などの設備、機能の提供などの努力をしています。社会と施設がこのようにふれあう中で、お互いの理解を深めていければ幸いです。

### 春の風に誘われて スポーツに親しむ

春には小浜市身障者母子寡婦スポーツ大会があります。これには小浜市出身の入居者が参加し、地元だけに以前からおつきあいのあったという方、久しぶりに再会したという方など、競技をしながらわきあいあいのムードがあります。参加競技は車椅子競走、風せん割競走、パン食い競走、輪投げ競走です。種目は例年変わらないので

#### ●車椅子競走 頑張れ頑張れ



すが、入居者は日頃運動不足になりがちな生活を送っていますので、良い機会でもあり、賞品があるとなってはハッスルしないわけにはいきません。ある入居者などは、たくさんの賞品をもらってきて、職員にもあげています。また、昼食時には顔見知りの近隣地域の方が友愛園のテントの中に入って、親睦を深めてくださったり、こちらから出かけて、親しく久しぶりの出会いを楽しんだりする良い光景が見られます。

次に若狭地区身障者母子スポーツ大会があります。若狭地区6町村の身障者、母子家庭のみなさんが参加されています。これもまた体力づくり、親睦を深める格好の場になっています。毎年競技前に自立更生され、地域で模範となっている方々が表彰されます。これを見て私たちはい

つも勇気づけられ、励まされ、感動いたします。地域に出て、このような方々の姿に接することとても良いものです。ただ規模が大きいのか、それぞれの町村でかたまってしまいう傾向にありますが、中には親しく見ず知らずの方が声をかけてくださることもあって、ありがたいことです。

### ワークキャンプと 夏祭りで賑わう

昨年度から福井県社会福祉協議会さんより依頼されました福祉協力校ワークキャンプは、初めての試みでしたが、敦賀市内の中学生と入居者との交流を通じ、活発な意見が出て、大いに盛り上がりました。中学生にとっては障害者の理解、施設体験学習といったものですが、話に聞きますと、自ら進んで夏休みを利用してきたということで、介護的なものにも積極的な姿勢が見られました。初めての



●夏の夜ビールで乾杯

体験ですが、食事時の介護も入居者と語り合いながら、実にスムーズでした。入居者にとりましては孫みたいな存在です。少し勝手が違うという印象でしたが、ほほえましい交流、ふれあいが持てました。

その後、手紙が届いて、「一度遊びに寄せてください」とのことで来園され、入居者と語り合ったり、ティタイムなどされました。

次は夏祭りでの地域交流ですが、日頃お世話になっている近隣地域の方々をおまねきして、夏のひとときを過ごしています。

昨年度は、青山音楽学院というタレント養成学校から歌手をめざす人3名に来ていただき、ステージを見ながら、会食をともにさせていただきました。各テーブルに入居者と地域のみなさんが入りまじり席につき、酒などくみかわしいながらの語らいは尽きません。顔なじみの方ばかりで、すぐうちとけた雰囲気になりました。地域のみなさんもこの夏祭りを楽しみに待っておられる様子で、「今年は何するんや」と、職員に早くからたずねておられます。私たちもマンネリにならないよう、趣向をこらし、毎年続けられるよう工夫を重ねていくつもりです。



● ボランティアと金閣を間近に



● 文化祭で熱唱

## 文化、行楽の秋に ボランティアの活躍

秋の遠足は、京都まで出かけました。この遠足には名田庄婦人福祉協議会のみなさんにボランティアとしてお世話になりました。

観光バスにそれぞれ隣りに乗っていただき、一対一でのおつきあいをいただいています。現地では、食事や名所巡り、お土産買いなど、車椅子の介助をしていただきながら、思い思いの場所へ行きました。

交流というよりも、一方的な関係になってしまいそうですが、バスの中では自慢ののどを聞かせていただくカラオケ合戦などは交流を深める良い場面でした。

観音講クラブでは、田茂谷地区老人会の方々と一諸に、お寺巡りで滋賀県へ出かけました。これは年数回開く念仏をあげる交流会が発展して実現したものです。

冠句クラブでは、中名田冠句会、若狭冠句会のみなさんと高浜町へ出かけました。戸外に出て冠句を作り交流を深めています。各宗匠の方々からアドバイスを受ける良い機会です。

文化祭では、入居者が日頃せっせと製作した手芸作品が、交流に一役かっているのではないのでしょうか。なかなか好評なようです。よく売れ、作品を通し、理解を深めていただいています。

## 四季のおつきあい 園生活が豊かに!!

毎年地域交流冠句大会が、3月に行われています。内外から多くの方々の参加をいただき、昨年で12回というすっかり板についた感じのものです。冠句を通じ、また昼食時には、それぞれの居室において、なごやかな会食をします。冠句には参加しない入居者も、会食をしながら、日頃のことなど語り合います。

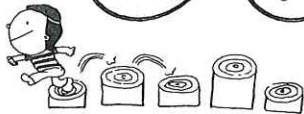
一度に80名~100名という多数の方が来られますので、この日ばかりは園内が狭く感じられます。少しでも多くの方に園を知っていただける機会でもあり、そして理解をいただける場でもありますので、さらに今後とも継続していけるよう努力したいものです。

最後に、このように地域近隣のみなさんの関わりを抜きにしては考えられない諸々の行事です。ひいては入居者のより良い生活につながっていくものでしょう。今後とも宜しく願いいたします。



● 冠会大会盛大です

びわのみ



大島保育所

## 一才児元気に入園

### 遊びと模倣で成長

桃組は、一才児5人のお友達で4月4日よりスタートしました。

初めての園生活で不安と戸惑いで、お母さんからなかなか離れられなかった子どもたちも今では、「せんせー」「おはよう」と喜んで登園できるようになりました。



一才児というと一人遊びの段階で、今、やっと自分の他にも同じような子どもたちがいる事に気が始めてきたところです。その事に気付くと覚えたばかりの友達の名前を呼びあったり、他の子を意識してその子を押ししてみたり、他の子のしている事を真似をしたりします。良い事、悪い事何でも模倣する時期です。そこで保育者が、まわりの大人が、いい見本となるよう気をつけなくてはならないと思います。

キラキラ輝いた瞳。たくましさと思いやりを持った子どもになって欲しいと思っています。

## お釈迦様を祝う

### 花まつり

月お花あげましょささげましょ今日は子どもの花まつり月元気な歌声が、遊戯室に響きます。

5月8日、一ヶ月遅れの花まつりを行いました。

園長先生からお釈迦様が誕生された時のお話を聞き、一人一人甘茶をかけました。お釈迦様を見て「これ誰?」と言っていた子どもたちも帰る頃には「お釈迦様のおかあさんは、マーヤいうんやで!」とちょっぴり得意顔でおかあさんに話していました。



## ステーション◎若狭本郷駅周辺

若狭本郷駅は、大飯町の中心地で佐分利川沿いの村々や大島半島の入口になっています。

佐分利川沿いの上って行くと大飯町出身の作家水上勉さんが建てた「若州一滴文庫」があります。ここには、竹人形や書籍が数多く陳列されており竹人形劇を上演する舞台もあります。

青戸大橋を渡るとリアス式海岸を目のあたりにすることができ、対岸小浜も遠望できます。すばらしい眺めの大島半島は、文化財の

宝庫といわれ清雲寺の「木造毘沙門天立像」「木造吉祥天立像」「善願師童子立像」・常禅寺の「不動明王坐像」・長楽寺の「阿弥陀坐像」などが国の重要文化財になっています。特に長楽寺の本尊は、若狭随一の定朝様式をもつ貴重な文化財となっています。

また、大島半島は、地下博物館と呼ばれているように縄文時代からの遺跡が数多く分布しています。

大島保育所では、四季を問わず長楽寺は散歩のコースとなってい

ます。椿の花を拾い首飾りにしたり、かくれんぼや缶けりをしたりして自然を満喫しています。



# 海とぼくらと

精神薄弱者  
更生施設 大島福祉学園

## 紅白に分かれて熱戦

### 第11回 体育大会盛大に

5月26日(日)、大島小学校を借りて、第11回体育大会を行いました。

11回ともなると、園生さんも要領を得ているようで、リラックスしたムードで参加していました。

しかし、競技に入ると顔がひきしまり、自分の持っている力をフルにしぼり出し、がんばっていま



した。競技は、紅白2つのチームに分かれて行われました。どちらのチームも「優勝するぞっ」という気迫がこもっており、熱戦がくり広げられました。

綱引きでは、チームがひとまとまりになり、息を合わせて一心に綱を引き合い、どちらとも一步も譲りませんでした。

応援合戦では、チームより選ばれた6～8名のメンバーが、この日のために1ヶ月前より行っていた練習の成果を存分に発揮しました。

そして最後の総踊りでは、全員が楽しく和やかに踊ることができました。

小学生の競技参加、地元の人たちのバザー協力、応援があって、成功裡に終わりました。園生さんもこうした交流によって楽しみが倍加しました。



## 若狭マラソン 元気に完走!!

第11回若狭マラソンが、4月28日(日)、晴天の下小浜市中央グラウンドを会場に行われました。

園では、6年前より出場しており、今回、3キロ45才以上男子に山本さんが、5キロ29才以下男子に森本さんが出場し完走しました。ふたりとも1ヶ月前から練習を重ね、2000人余りの中でもそれぞれの力を十分発揮できました。

## 私の療育日誌

### 第3回すみれ

4月1日 新しい居室発表が行われた。浅妻さんは部屋の移動にはりきって手伝ってくれて大助かりだった。しかし、そのあとしっかりオヤツをねだってくる。

4月7日 面会日。わが居室は全員保護者が来られ、賑やかだった。

薫ちゃんはお父さんが来られて、顔がゆるみっぱなしであった。

4月11日 和代さんが4月から掃除機当番をまかせられる。ちっとも嫌がらず、汗を流しながらがんばっていた。

4月17日 農耕班の園外実習で舞鶴の西武農場へ行く。すっごくいいお天気で、洋子さんはアスレチックにはりきっていた。

4月29日 みんなで字をかく練習をする。和代さんは名前が書ける

ようになりたくて、何度も繰り返し練習していた。

(すみれ担当 中野晴美)



# くるまです少し前進!

身体障害者療護施設  
……友愛園

## 友愛園あれこれpart 20

### 掃除メンテナンス

メンテナンス。今回園内メンテナンスについて紹介します。

「おはよう」と声をかけ合う朝。園内は掃除機音から目がさめ一日が始まります。

早朝から部屋に静かな音をたてて掃除しているFさんは、一日の始まりとして気分よく過ごせるように、部屋のゴミ、汚れをおとし



ています。

数名の入居者が、自主的に廊下や部屋の掃除を行い、園内美化に努めています。その中でも障害の程度が軽度なHさんは、掃除機を片手に持ちながら、バランスを保ちつつヨタヨタ歩きで、長い廊下に静かな音を響かせています。

今では珍しくなった木の目皿が、トイレや洗面所に敷きつめられてあり、毎日目皿にぞうきんがけをするOさん。夏の暑い日や、冬の手がこおりつくような日であっても、目皿ふきをしています。

とかくコンクリートで固められる現代、ひのきの香りたただよう場所で生活しているFさん、Hさん、Oさん、みんなが気分よく一日を

過ごせるようにと、早朝からメンテナンスに取り組む姿は、さわやかですがすがしい朝を迎える一歩と考えています。

今朝もまた、静かな音が園内に響いています。

### 笑顔いっぱい 洋ちゃんデス

今回は大阪市出身の松田洋子さんを紹介します。

彼女の愛称は洋ちゃん。

昭和53年の秋に自宅より入所してきました。もう13年間も園生活をしています。洋ちゃんは昔と少しも変わらない美人顔で、若いイメージを漂わせています。

時にはヒステリーをおこすこともあり、自我が強く少し意地っ張りな、喜怒哀楽がはっきりした彼女ですが、笑顔はステキです。仲間はずいぶん洋ちゃんスマイルを忘れません。

言葉を話すことができない彼女は、ジェスチャーで会話します。今日も洋ちゃんのスマイル見せました。



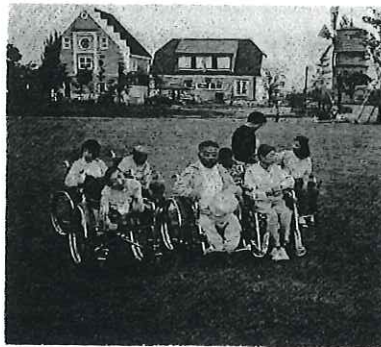
### 風車村で バーベキュー

去る5月22日(木)、日頃外出の機会が少ない人達が、滋賀県新旭町にある風車村へ出かけました。

バスで一時間あまり、国道161号線を走る車中から風車が見え始めた頃、どこかソワソワとする後部座席、「ワー」風車の壮大なスケールに感動し話はずみまじりました。

車を降りて広い芝生の上でひと

やすみ、しょうぶの花が咲きはじめた中、バーベキューを食べながら、のんびりとした一日を過ごしました。



# キリンさんからのメッセージ

精神薄弱児施設 南川福祉学園

## 養護学校を卒業 祝う会も盛大に

去る3月14日、嶺南養護学校小浜分校の卒業式が行われました。

今年は小学部の卒業生はなく、八原勝利君、竹本昌広君、一瀬明子さんの3人が中学部を卒業しました。今まで美浜町気山にある本校での卒業式に参列していましたが、今年初めて分校独自で行われました。質素ではありましたが、父兄や在校生に見守られる中で心のこもったあたたかい卒業式に、

3人共大満足の様子でした。

同日の午後、学園の食堂において「卒業を祝う会」が開かれました。3人共日頃着慣れない制服に何となく窮屈そうにしながらも最高の笑顔で、仲間や職員からのお祝いの言葉や花束を受けていました。大きなケーキと飲み物でお腹の方も満足した後、それぞれが4月からの抱負を語ってくれました。

竹本君と八原君は作業班に仲間入りし、マット編みや箸箱作りを覚えたり、農耕作業に精出すことを約束してくれました。一瀬さんは療育班に仲間入りし、健康な身体作りや歩行訓練に頑張ってくれることを、手をパチパチ叩くことで表現してくれました。

3人の頑張りに期待したいと思います。

## 気分をリフレッシュ! 体力作りに励む

当園では、現在養護学校を卒業した15名の園生が、作業班として日々作業訓練に励んでいます。

作業班は月曜日から土曜日まで毎日、2～4時間程畑作業、マット編み、角チリ折りといった作業を行っています。ともすると立ちっぱなし、座りっぱなしで思い切り体を動かすことが少なくなりがちです。そこで、軽度グループは訓練を早目に切り上げ、重度グループは訓練の始めに、それぞれ学園周囲を走り、身体の固くなった筋肉をほぐしたり、気分をリフレッシュさせたりしています。作業の能率も上がるので、これからも続けていこうと思っています。



## たくましい5号室

### 元気いっぱいです

4月より新しくなった5号室のメンバーを紹介します。

笑顔の素敵なお能田道治君。みんなから「ミッコ」と呼ばれています。毎日療育班で健康な身体作りと機能訓練に励んでいます。

学園のリーダー格の浜川三男君。掃除機当番、食堂当番などリーダーとしてみんなの先頭になって頑張っています。カラオケが大好きです。

いつも物静かな福井良一君。中学二年生になり、体もひとまわり大きくなってきました。最近、浜川君と一緒に野球の練習をしています。

担当を含め男ばかりの部屋ですが、「元気に、明るく、たくましく」

をモットーに、仲よく一年間過ごしていきたいと思っています。





(1月～4月分)

◆友愛会

✎寄付

寄付金…小堂勉さん  
寄付金…匿名の方

◆大島福祉学園

✎寄付

おむつなど  
…小浜市赤十字奉仕団の  
みなさん  
絵画…慈彩会さん  
衣類・タオルなど  
…沢山和子さん  
ファックス  
…NTTさん

◆友愛園

✎奉仕・交流

中名田冠句会のみなさん  
若狭地区各冠句会のみなさん



♥退職

次の方が退職されました。長い間ご苦勞さまでした。

森本小夜美さん (南川福祉学園)  
以上1月31日付  
藤本善八郎さん (友愛園)  
大沢智子さん (大島福祉学園)  
村松淑乃さん (友愛園)  
紙本裕美さん (南川福祉学園)  
増田綾子さん (南川福祉学園)  
遠藤花子さん (南川福祉学園)  
以上3月31日付  
上山成代さん (南川福祉学園)  
以上4月30日付

猿橋統流子さん  
岩本エイさん  
東野手芸店さん  
買物ボランティアのみなさん  
田茂谷老人会のみなさん  
原真英さん  
河原正美さん

✎寄付

車椅子…読売新聞大阪本社さん  
グリーンスタンプ  
…福井県社協福井中央ボ  
ランティアセンターさん  
金品…福井県共同募金会さん  
金品…浄土真宗本願寺派若狭  
組仏教婦人会連合さん。  
ファックス  
…NTTさん  
トレーニングウェア  
…若狭松下電器さん

◆南川福祉学園

✎寄付

トレーニングウェア  
…若狭松下電器さん

♥異動

次の方が異動されました。  
古田宗雄さん (友愛園長)  
以上4月1日付

♥採用

新しく次の方が採用されまし  
た。よろしくお願ひいたします。  
松本富美恵さん (大島福祉学園)  
石田みそらさん (大島福祉学園)  
清水理江さん (友愛園)  
田辺直宏さん (南川福祉学園)  
炭吉広子さん (南川福祉学園)  
高田文子さん (南川福祉学園)  
以上4月1日付  
坂井良子さん (南川福祉学園)  
大江康司さん (南川福祉学園)  
以上5月1日付  
大上信雄さん (友愛園)  
以上6月1日付

ファックス

…NTTさん

饅頭…高浜町ジュニアリーダ  
ーズクラブさん

♥後援会員を募集中

友愛会の福祉活動を育成援助す  
ることを目的に、今年度も後援会  
員を募っています。

文化祭や広報「海清」の発行な  
どに役立てられます。

みなさんの温かいご支援をお願  
いします。

編集後記

初ゼミの声を聞くころとなり、  
昆虫の成長に、自然の恵みのあり  
がたさを覚えます。

「海清」第21号をお届けします。

六月四日は、虫歯予防デーです。  
六四をムシと呼ばすことからこの  
日を虫歯予防する日としたもので、  
昭和三年から予防デーが催され、  
さらにこれを拡張して口腔衛生週  
間としてこの日から一週間、虫歯  
予防週間として行われています。

私たちは、施設において、毎食  
後三回歯磨指導・援助を行い、正  
しい磨き方が習慣となるよう、歯  
の健康管理に努めています。(谷口)

桜の花が風に舞い、若葉が萌え  
出すと、何か言い表わしようのな  
い感動と共に、新たな力が湧き上  
ってきます。小さな事まで言い出  
したら切りがない程のいろんな出  
来事に悪戦苦闘しながら、それ  
でも過ぎてしまえば平凡な一年を振  
り返り、今年こそは思い切った挑  
戦で、施設の入所者に新しい風を  
吹きこんであげようと思うのです。  
(中尾)